

2024. 9月 女性チャレンジ応援拠点だより



コラム 「ピンとくる、こない」

9月に入っても真夏の暑さが続きますが、暦の上では「中秋」に入っています。旧暦8月15日の中秋の名月、「十五夜」は、今年は9月17日ですが、満月は翌日の18日です。「実際に旧暦8月15日の中秋の名月を調べてみると、実はこの日は満月の日でないことが多いのです」(※)。ちなみに旧暦9月の「十三夜」(今年は10月15日)は「後の月見」と言われ、「十五夜」と続けて愛でるのが風流とされているそうです。慌ただしい日々ですが、そんなゆとりを持ちたいものですね。

さて、今月の『夢をカタチにみちびくコミュニケーション』は、チャレンジするみなさんの初期の段階で接するコミュニケーション・シーンを想定して、夢をカタチにしやすい人の共通項を実例を交えて考えてみましょう。名づけて「ピンとくる、こない」です。

女性チャレンジ応援拠点に1年半ぶりに訪ねて来られ、開口一番、「ようやくわかってきました」と言われた方がいらっしゃいます。担当スタッフはキョトンとして、「何のことですか?」。その方は、これまでいろいろと助言をもらい、他の支援機関も勧められ、そこで専任のコンサルタントもついたら、正直なところしばらくはピンとこず、助言内容の意義がわからなかったそうです。でも大事なことなんだろうと実行し、自分で勉強もし、そして経験も重なってきたところで、ようやくわかってきた、助言されたことはこういうことだったのかと腑に落ち、何をどうすればいいか勘所が自分で掴めてきたとのことでした。

これにはスタッフも感激、仕事とはいえ、助言してきた甲斐があります。何よりご本人の認識や判断レベルが高まったことに祝福です。なぜなら、これからチャレンジを進展させるにあたり、自身に合った方策が考えられるはずですから。その実践方法にまた助言を他者に求めたとして、今後はおそらく自分に合った方法を取捨選択できるでしょうから。

そうすれば次第にパーソナル・ブランドが形づくられていき、他の同様の活動をしている所との違いや存在感が対外的に伝わっていきますから、チャレンジ発展の軌道に乗っていくこと間違いありません。

「女性チャレンジ応援拠点」と同様、新しいチャレンジや起業を支援する機関は多種多様にありますが、その支援機関の一つで長年起業相談とフォローアップに携わる方によれば、「〈伸びる人〉の特徴の一つは、自分はまだ何もわかっていないと思える人」。そういう人は学ぶ姿勢があるので、起業しても続けるのが至難の「経営」に、その都度課題を見つけ、さまざまな知恵に接し、他の協力を得ながら、乗り切っていく、だから続いていく。そういう見立てです。

実際、チャレンジや起業して長年になる人の中には、「一歩踏み出して、本当によかったと思います。いろいろな人に支えてもらい、教えてもらって、何もわかっていなかったとわかったし、わかったつもりだったことも時間が経ってみると、まだ全然わかっていない。これからも多分その繰り返しだろうと思います。でも、そういった認識をもてるようになったことが、ちょっと成長かなと…」。

夢をカタチにしようとするみなさんは、そもそも主体性がありますね。その主体性に柔軟性のバールをまとい、あなたを支えようとする人の〈勧め〉を吸収し、試して、吟味して、最終的には自身が主体的に取捨選択して、前進する。それが自分の夢を自分らしくカタチにしていって定石かもしれません。

と、このあたりで終わるとして、「女性チャレンジ応援拠点」スタッフも学ぶ姿勢をくずさず、みなさんを支えていきます。スタッフ一同ご利用をお待ちしております。

《参考資料》(※) かわうそ@暦(2020).「中秋の名月はいつ?」.こよみのページ. https://koyomi8.com/reki_doc/doc_0710.html (参照 2024-08-28)

女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4階
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp

運営：大阪市立男女共同参画センター中央館
(電話 06-6770-7200 FAX 06-6770-7705)

※ 開室日

※ 日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

※ 開室時間内は自由に出入りいただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

